



家庭倫理の会は「よくする活動」を推進しています  
家庭を、地域を、日本を、地球をよくする 活動を推進しています

## 6月6日(日) 合同おはよう倫理塾 於天神会館

山形県鶴岡市にお住まいの相馬紀子選任講師をお迎えして合同おはよう倫理塾が行われました。実践報告は南支部、久保田順子さん。股関節を悪くして、辛い日々をおくっていたが、会友から整形外科の名医を紹介して頂いて、手術をして、順調に回復した喜びの発表をされました。鶴岡市は映画などの口ケの多いところで、「おくりびと」や「天地人」などの撮影も行われていました。街中のあちこちにエキストラの募集のポスターが貼られています。山形県は家庭倫理の会は一つで、8支部あります。移動には車は欠かせなくて、特に冬は地吹雪で大変だそうです。

先生は埼玉県大宮市で入会なさいました。いきつけの小児科に「新世」が置いてあったのだそうです。それから家庭倫理講演会で本をたくさん買ったので、注目されて、誘われて集いにできるようになりました。先生はずいぶん普及もされましたが、基本は「こんないい人が入会しているのなら、私も入会したい」と相手が思うような人になることです。誘われて入っても、倫理のことがすぐにわからないかも知れませんが、わからなくてもまずやってみることが大切です。出来ない人が一生懸命やっていると、必ず協力者が現れるものです。

栞5条に夫婦対鏡が書かれています。お互いの働きを当たり前だと思わずに、感謝の気持ちを持ち続けることが大切なのではないでしょうか。 <写真> 上から相馬紀子講師 久保田順子さん (早川 敦子)



## 西新宿支部・高田馬場支部、正支部昇格式



6月6日、合同おはよう倫理塾終了後、西新宿支部と高田馬場支部が正支部に昇格した記念式がありました。役員の方々の辞令も新たに拝受しました。これをもって、「家庭倫理の会 新宿区」の発足に向けて動き出しました。

“家庭倫理の会中野区”の方々には、約一年大変お世話になり、活発な活動ぶりに刺激を受けました。しかし、志気をあげるためには、やはり新宿区という看板が必要だと痛感しました。“家庭倫理の会新宿区”が発足した後も“家庭倫理の会中野区”の方には、色々勉強させていただきたいと思っています。 (早川 敦子)

<写真> 上から浦野好子西新宿支部長 田邊吾朗高田馬場支部長

## 東中野さわやかセミナー

6月19日 土曜日 10時より中野区立東部地域センターにて開催しました。

前日の天気予報では東京は午前中、大雨ということでしたが、朝から雨は止み夕方まで降らなかったのが大変助かりました。講師は新宿の深川清美生活倫理相談士をお迎えして「ありがとうをかみしめて」というテーマでいただきました。現在住んでおられる中央区あいおいの里に越される時、徹底して捨てるという「断捨離」の実践は引越だけでなく、日々過ごして整理整頓がなかなかできない私には大変勉強になりました。

未会員2名 会員9名

セミナー担当者

## 倫理と私

西新宿支部 佐藤 政子

「さあどうぞどうぞ、よくいらっしやいましたね」と、大歓迎され少年日曜朝の集い。(昭和41年入会)

高校生になって初めて朝の集いの会場へ出席。「若い人は素晴らしい！会場が明るくなる！」などと会員の皆さんにあたたかく接して頂き青春時代の悩みで落ち込んで朝の集いに参加しその都度パワーをもらい、原点に戻りどんな時でも「私には倫理がある。朝の集いに参加すれば自分を切り替えられる。」その繰り返して、会員の皆さんに励まして頂きました。

結婚の際も嫁ぎ先から一番近い朝の集い会場を倫研に教えてもらい、すぐに委員長さん宅に向かいました。初対面にもかかわらず、菅ヶ谷委員長ご夫妻に嫁のように喜んで頂きとても嬉しく、「これで何が起きて大丈夫！！」江東区深川で木工職人の家から新宿の商人に嫁ぎ、新宿の会員としてスタートしました。倫理の学びがあればその現在。これからもコツコツと歩みを止めずに積み重ねて支え合う輪を広げ地域に貢献していきます。

\* 朝の集い...現在のおはよう倫理塾

### 6月20日(日)合同実践報告会 於天神会館

#### \* 夫に合わせる実践の途中経過報告...岡野八重子さん(南支部)

同居していた両親の亡きあと、夫婦だけの生活になり、夫の欠点が目に付くようになりました。思い通りにいかないと不満が多くなるようになったので、反省して、相手の気持ちを汲んで合わせていく実践をしています。



カラオケも下手な夫に文句も言わずに付き合い、合わせて聴いているうちに、夫はだんだんと上達し、今では夫婦で楽しめる共通の趣味となりました。欠点も見なくなりました。これからも気持ちを向けて、合わせていきます。

#### \* 毎日電話をすることによって母が元気になりました...内倉あゆ子さん(南支部)

骨折した時も、「命に係わらないから、帰ってこなくてもいいよ」と言っていた気丈な父からのSOSで、鹿児島の実家に帰って見たら、母が白内障ということもあり、外出をしなくなって、引きこもっていました。おはよう倫理塾も2年通っていませんでした。これではいけないと思い、戻ってからも、毎日電話をすることにしました。母は私の明るい声を聴くと元気になると言ってくれるようになりました。やがておはよう倫理塾へも行けるようになり、富士研へ行くという目標をもってからは、リハビリにも精を出しています。私は、必要な時に帰省ができるように、夫に合わせていきます。

最後に、飯田孝雄選抜副参事が、自分の実践を長いスパンで見ましょ。そして“結果を求めない、楽しく、最後まであきらめない”と生きていくうえで大切なことをお話された。

参加者23名 <写真は左から 岡野さん、内倉さん、飯田選抜副参事>

(桐山)

## 中野駅「夢通り」文化部作品展示



7月23日まで、秋津書道、しきなみ短歌、会友の力作が展示されています！

岡田進研究員絶賛の平野むめさん(98歳)の作品もあります。是非見に来てください！